

株式相場見通し

* 日経平均 22,500~23,500円 TOPIX 1,790~1,870
 * 期待材料 好調な企業業績 諸外国に比べ安定した政治情勢 米国の税制改革
 * 不安材料 北朝鮮情勢 トランプリスクの顕在化 中東情勢 クリスマス休暇中のテロ懸念

17年の株式市場は、北朝鮮問題への懸念等がリスク要因として意識される局面が続いたが、先進国経済の成長、新興国経済の回復といったマクロ経済の拡大に加えて、長年継続してきた国内企業の合理化、選択と集中を通じた収益力の拡大を背景に年末にかけて株高基調を鮮明にし、80年代末のバブルが本格的に崩壊して以降の高値を更新した。18年においても、減税策や1月にも打ち出される可能性のある大型のインフラ投資を通じて米国が世界経済の拡大を牽引することが期待され、日本企業の収益拡大局面の継続が想定される。なお、12月上旬に大手証券から企業業績見通しが発表されたが、各社ともに18年度については1ドル110円、1ユーロ130円程度を前提に9%程度の最終増益を予想している。仮に、9%の増益を前提に計算すると現時点の日経平均の今期予想EPS1,514円は1,650円程度となり、自民党が政権に復帰し安倍氏が首相に再任された5年前からの平均PER15.5倍を乗じると25,575円が想定株価となる。米国の利上げ及び日米金利差の拡大を通じて、1ドル110円以上の円安が進行する局面においては業績見通しのさらなる向上が期待され、18年度の想定株価水準も一段と高まる展開も予想される。リスク要因としては北朝鮮情勢、米国の国家安全保障戦略で打ち出された対中露強硬路線の影響、ロシアゲート問題の余波、予期せぬ米国物価の急上昇や中国経済の急減速をあげておく。(12月21日現在、多功 毅)

今後の予定

	国内	海外
12/25 (月)	しまむら(8227)3Q決算 高島屋(8233)3Q決算	クリスマス 米国等各国市場が休場 [台]マナーサプライ
26(火)	11月失業率(8:30) 11月全国CPI(8:30) 黒田日銀総裁 講演(13:00)	ボクシング・デー 英国等各国市場が休場 [米]10月 S&P コアロジック GS 住宅価格指数(23:00)
27(水)	ウェザーニューズ(4825)2Q決算	[米]12月消費者信頼感指数(24:00)
28(木)	11月鉱工業生産(8:50)	[米]12月シカゴ購買部協会景気指数(23:45)
29(金)	東証 大納会	[独]12月消費者物価指数(CPI)(22:00)
30(土)	WBO スーパーフライ級王者井上尚弥 防衛戦	スキージャンプW杯 オーベルストドルフ大会
31(日)	年末ジャンボ宝くじ抽選日	[中]12月製造業PMI(10:00)
1/1(月)	元日	[露]ロシアにおける日本年スタート
2(火)	第94回箱根駅伝(~3日)	[中]12月財新製造業PMI(10:45)
3(水)	アニメ映画「君の名は。」 地上波初放送	[米]12月ISM製造業景況指数(24:00)
4(木)	東証 大発会	[米]12月ADP雇用統計(22:15)
5(金)	魚河岸初競り アークス(9948)3Q決算	[米]12月雇用統計(22:30) [米]12月ISM非製造業景況指数(24:00)
6(土)	ペット博 2018 in 横浜	スキージャンプW杯 ビショフスホーヘン大会
7(日)	NHK大河ドラマ「西郷どん」放送開始	東方正教会系のクリスマス
8(月)	成人の日	[北朝鮮]金正恩朝鮮労働党委員長 誕生日

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

2017年12月25日、2018年1月4日合併号

今週の参考銘柄

アドウェイズ (2489)

東証マザーズ

東証マザーズは新興市場です。



	16年3月期		17年3月期		18年3月期(予)		株価(12/21)	623 円
	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	業種	サービス
売上高	39,613	10.4%	42,329	6.9%	46,000	8.7%	売買単位	100 株
営業利益	687	-35.0%	315	-54.1%	560	77.4%	PER(予想)	109.7 倍
経常利益	744	-37.8%	248	-66.6%	730	194.1%	PBR(実績)	2.2 倍
当期純利益	145	-78.8%	-450	—	220	—	ROE(実績)	-3.9 %
EPS(円)	3.5		-11.1		5.7		配当利回り(予想)	0.4 %
配当金(円)	2.35		2.35		2.35		担当	松本 直志

出所：業績に関する数値は決算短信、決算説明会資料より

ネットのアフィリエイト(成果報酬型)広告国内大手。国内最大級の広告主を有するモバイルアフィリエイト広告を主力に、様々なネット広告事業を展開しており、2009年3月期から9期連続で増収を達成。2003年の中国進出を手始めにシンガポール、ベトナム、フィリピン、インドネシア、タイ、台湾、韓国、インドなどへネット広告の海外展開も行っている。

上期決算は前年同期比4.6%増収、営業黒字転換。競争が激しく利益が出にくい代理店事業から徐々に撤退していることから売上の伸びは限定的だが、業務効率化が進み販売管理費の抑制が進んでおり、通期営業利益計画に対する上期の進捗率は67.3%と順調に推移。

ネット広告業界では、閲覧者の属性によって掲載される広告が変わる運用型広告がここ2~3年で主流になってきたが、アドウェイズは人手により成果を確認しながら最適な広告の出稿を行っていたため、効率が悪く売上が伸びても利益が出ない状況だった。そこで、自動広告配信プラットフォーム「UNICORN」の開発を進め、今年5月からゲームアプリ分野で本格展開を開始。人手とは比べものにならないほど速く効率的に広告配信ができるため、広告の効果が高く大型案件や大手クライアントとの取引数が増加しており、2Qの「UNICORN」の売上は1Q比ほぼ倍増に拡大。今3月期末までに月商1億円、来期の10~12月をめどに月商5億円の達成を目指している。また、来期には海外展開やゲーム以外のEC、マンガコンテンツ広告での利用を開始する方針を示しており、今後の業績けん引役になることが期待される。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

2017年12月25日、2018年1月4日合併号

特集 銘柄スクリーニング(対象:東証1部上場銘柄)

銘柄コード	銘柄名	株価 (12/20)	今期				来期		
			決算期 年/月	経常利益 (会社) [百万円]	経常利益 (東洋経済) [百万円]	乖離率 東洋経済 予想と 会社予想	決算期 年/月	経常利益 (東洋経済) [百万円]	増益率 東洋経済 予想
6848	東亜DKK	1,037	18/3	1,500	1,850	23.3%	19/3	1,950	5.4%
3134	Hamee	1,689	18/4	1,157	1,400	21.0%	19/4	1,600	14.3%
6294	オカアイオン	2,132	18/3	1,250	1,500	20.0%	19/3	1,800	20.0%
3580	小松精	936	18/3	2,200	2,620	19.1%	19/3	2,780	6.1%
5344	MARUWA	7,900	18/3	5,450	6,450	18.3%	19/3	7,450	15.5%
9416	ビジョン	2,602	17/12	1,608	1,900	18.2%	18/12	2,500	31.6%
6652	IDEC	2,514	18/3	6,150	7,200	17.1%	19/3	7,300	1.4%
3434	アルファCo	2,350	18/3	2,500	2,900	16.0%	19/3	3,000	3.4%
6089	ウィルG	1,733	18/3	2,250	2,600	15.6%	19/3	3,300	26.9%
3179	シュッピン	3,100	18/3	1,387	1,600	15.4%	19/3	2,000	25.0%
6513	オリジン	1,705	18/3	1,000	1,150	15.0%	19/3	1,600	39.1%
4921	ファンケル	3,160	18/3	6,100	7,000	14.8%	19/3	8,100	15.7%
1956	NDS	4,280	18/3	2,900	3,300	13.8%	19/3	3,500	6.1%
1951	協エクシオ	2,917	18/3	23,600	26,500	12.3%	19/3	29,000	9.4%
7305	新家工	2,179	18/3	1,700	1,900	11.8%	19/3	2,000	5.3%
2737	トーマンデバ	3,490	18/3	2,000	2,200	10.0%	19/3	2,400	9.1%
2760	東エレデバ	2,025	18/3	2,000	2,200	10.0%	19/3	2,400	9.1%
7732	トプコン	2,355	18/3	10,000	11,000	10.0%	19/3	13,000	18.2%
4063	信越化	11,710	18/3	280,000	307,000	9.6%	19/3	342,000	11.4%
4025	多木化	5,670	17/12	2,300	2,500	8.7%	18/12	2,550	2.0%
1937	西部電工	3,000	18/3	1,300	1,400	7.7%	19/3	1,600	14.3%
4922	コーセー	17,240	18/3	46,700	50,000	7.1%	19/3	56,000	12.0%
3626	TIS	3,985	18/3	30,000	32,000	6.7%	19/3	34,000	6.3%
7987	ナカバヤシ	719	18/3	3,000	3,200	6.7%	19/3	3,400	6.3%
3180	Bガレージ	1,942	18/4	600	640	6.7%	19/4	830	29.7%
2317	システナ	3,565	18/3	4,416	4,700	6.4%	19/3	5,800	23.4%
8155	三益半導	2,047	18/5	4,050	4,300	6.2%	19/5	4,800	11.6%
9997	ペルーナ	1,352	18/3	13,500	14,300	5.9%	19/3	16,000	11.9%
8093	極東貿易	493	18/3	1,700	1,800	5.9%	19/3	2,100	16.7%
8282	ケーズHD	2,917	18/3	35,000	37,000	5.7%	19/3	39,000	5.4%
6800	ヨコオ	1,528	18/3	2,700	2,850	5.6%	19/3	3,500	22.8%
2286	林兼	868	18/3	900	950	5.6%	19/3	1,000	5.3%
6501	日立	893	18/3	570,000	600,000	5.3%	19/3	700,000	16.7%
5011	ニチレキ	1,450	18/3	6,000	6,300	5.0%	19/3	6,400	1.6%
6866	HIOKI	2,971	17/12	2,510	2,630	4.8%	18/12	2,830	7.6%
3756	豆蔵HD	1,347	18/3	2,180	2,280	4.6%	19/3	2,400	5.3%
3388	明治電機工業	1,805	18/3	2,350	2,450	4.3%	19/3	2,650	8.2%
4956	ユニシ	2,073	18/3	7,400	7,700	4.1%	19/3	8,000	3.9%
6770	アルプス	3,370	18/3	64,500	67,000	3.9%	19/3	69,000	3.0%
6055	Jマテリアル	3,760	18/3	5,500	5,700	3.6%	19/3	6,200	8.8%
3110	日東紡	3,245	18/3	11,600	12,000	3.4%	19/3	12,500	4.2%
2413	エムスリー	3,915	18/3	29,000	30,000	3.4%	19/3	35,000	16.7%
7532	ドンキHD	5,760	18/6	49,800	51,500	3.4%	19/6	54,000	4.9%
5013	ユシロ	1,684	18/3	3,200	3,300	3.1%	19/3	3,500	6.1%
9880	イノテック	1,087	18/3	1,000	1,030	3.0%	19/3	1,600	55.3%
4611	大日塗	1,849	18/3	6,900	7,100	2.9%	19/3	7,400	4.2%
4465	ニイタカ	1,840	18/5	1,170	1,200	2.6%	19/5	1,300	8.3%
6197	ソラスト	2,683	18/3	4,015	4,100	2.1%	19/3	4,800	17.1%
4299	ハイマックス	1,820	18/3	984	1,000	1.6%	19/3	1,100	10.0%
3385	薬王堂	3,235	18/2	3,972	4,000	0.7%	19/2	4,200	5.0%

* 会社四季報新春号の発売に伴い、東証1部上場企業を対象に、今期経常利益予想について東洋経済予想が会社発表予想を上回っており、東洋経済予想が来期についても増益予想となっている企業について12/15に検索したところ685銘柄が該当した。ここでは、その中から四季報コメント等を参考に50銘柄を取り上げた。並びは今期経常利益予想の東洋経済と会社発表の乖離率順。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号

加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%(ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室